



インターハイを終えて

弓道部 長 内 和 輝

今年、私は鳥取県米子市の鳥取県立武道館で、弓道のインターハイに臨みました。そこで私は、宮城県代表というプレッシャーを抱えながらも期待で胸がいっぱいになっていました。

今年の夏に行われた県総体がありました。私はそこで二十本の矢を放ち十九本の中することができ、準優勝しました。その結果、鳥取県のインターハイに臨むことになりました。インターハイの予選の通過条件は、四本中三本の中させることでした。予選で私は、一・二本目を的中させることができたのですが、三本目を外してしまいました。その瞬間に、次を外したら終わりだという気持ちが入り込んできました。しかし、平常心で四本目をしっかりと的中させることができました。その後、行われた準決勝では四本全ての中することができました。二日目に行われた決勝戦は、一人一本ずつ矢を放ち、外した人から退場していき、最後まで当て続けた人が優勝するというルールです。私はいままでに感じたことのない緊張感の中で戦いました。結果は六位でしたが、とても楽しかったです。

私がこのインターハイを通して学んだことは「継続は力なり。」です。日々の練習をコツコツと努力することの大切さを実感できた良い経験でした。

